

## 事業評価書

補助事業名	通信施設：防災対応型エリア放送施設						
補助事業者名	行方市長						
実施場所	行方市玉造地内						
補助事業の成果の目標	<p>行方市では、防災情報等を無線放送によって地域住民に伝達しているところであるが、百里飛行場を離着陸する航空機騒音の影響で、自宅内にいると無線放送が聴き取りにくいとの苦情が本市に寄せられている。</p> <p>そこで、普段視聴してるテレビ番組と同様に、簡単に防災情報等を入手できるエリア放送を構築することにより、災害時における無線放送が聴き取りにくい問題が解消され、スピーディーで確実な情報を伝達し、地域住民の市民の安心安全な生活に寄与する。</p> <p>【参考指標】 対象地区人口／世帯数 : 10,869人／3,938世帯 (平成28年10月31日現在)</p>						
補助事業の内容	放送機器設置工事 一式						
補助事業の始期及び終期	平成26年度から平成28年度						
事業費及び交付金額		25年度	26年度	27年度	28年度		計
		円	円	円	円		円
	事業費	—	25,056,000	17,874,000	13,100,400		56,030,400
	交付金額	—	21,746,000	15,860,000	10,000,000		47,606,000
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	<p>[補助事業の成果及び評価] 今年度の放送機器設置工事は予定どおり完了した。しかし、伝送路工事が許認可の関係で未着手であるため、放送波が発信されておらず評価することができない。伝送路工事が完了して放送開始後、地元区長等から意見を聴取し、災害時における無線放送が聞きにくい問題が解消され地域住民の安心安全な生活が確保されたかを確認する。</p> <p>[地域住民への周知の実施状況] 置局工事状況については市報で市民へ周知をしており、昨年度までの工事完了した地域では視聴ができています。</p>						
事前の改善措置及び今後の対応	今のところ、事業の改善措置はない。平成29年度は伝送路工事を完了させ、視聴可能エリアを確定し、難視聴エリア調査と対策を行う。						
事業評価に際しての第三者機関の活用の有無	無						